



担当教員 野原 香織
帯広畜産大学 人間科学研究部門 講師

農畜産関係法

(日本の農業・畜産業をめぐる法律問題)



農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全性を確保することである。そのためには生産者倫理や消費者意識といった個人の努力だけでなく、生産から消費にいたるまでの明確なルールづくりが不可欠となる。農畜産業に関する種々の法律は、国家による強制力をもつルールとして「食の安心・安全」を支えている。近年、「食」をめぐる国際情勢の変化や科学技術の進歩、そして社会問題となった「食品スキャンダル」などの重大事件をうけて、農畜産業および食品安全に関する法制度は転換点を迎えた。この授業では、わが国の農畜産業の現状と課題をふまえたうえで、関連する法制度を具体的な事例を交えて習得し、さらに将来的課題を克服するために必要な法的思考力を養う。

到達目標

- ①農畜産業および食品安全に関する法制度の概要を説明することができる。
- ②現在の法制度の問題点や将来的課題を見出すことができる。
- ③各法制度の背景・意義・概要・問題点を文献等から調査し、自らの考えを法的観点から展開することができる。

成績評価

授業後に出題する小テスト・課題（50%）、期末レポート（50%）によって評価する。
授業後の小テストや課題では、授業内容を正確に理解しているか、積極的に取り組んでいるかなどをはかる。期末レポートでは、授業でとりあげた農畜産業に関する法制度のなかから各自でテーマを設定し、文献調査等によって理解を深めたうえで、自らの考えを法的観点から論じてもらう。

授業計画

1. ガイダンス
2. 日本の農畜産業を取り巻く現状と政策
3. 農産物食品の規格・表示と安全性
4. 食品衛生法の改正・HACCP
5. 放射能と農産物
6. 遺伝子組換え作物・食品の安全性
7. 農業知的財産（1）—品種登録と育成者権
8. 農業知的財産（2）—地理的表示（GI）・地域団体商標
9. 農業知的財産（3）—家畜遺伝資源の保護
10. 家畜伝染病の予防
11. 家畜のアニマル・ウェルフェア
12. 農地の利用
13. 環境保全型農業
14. 農業従事者の労働法
15. 全体の総括